

生活者の視点に基づく 地域研究

研究概要

私は中国  出身で、2009年に鹿児島に来ました。
日本の文化  を理解するために、
「フィールドワーク」という手法を駆使し、
生活者の視点に立って鹿児島県内で地域研究を行ってきました。
例えば・・・



鹿児島はいつから花見があったのか？
それ以前に春先の行事としてどんなものがあったのか？
現在、集落単位で行われている花見は、地域社会にとってどのような意味があるのか？

奄美の浜において、かつてどのような生活風景があったのか？それが奄美の環境にとってどのような意味があったのか？
道路や護岸建設は砂浜にどのような変化を与えたのか？



企業メリット

- ・ 地域社会の諸問題に関する調査協力が可能である。
- ・ 地域おこしに関する諸事業のサポートが可能である。

キーワード

地域社会、生活者、文化、民俗、環境、中国

主要な研究テーマ

- ・ 鹿児島県の地域社会における花見文化の受容と展開に関する研究
- ・ 奄美大島における浜の生活風景に関する研究

技術相談に応じられる分野

- ・ 中国に派遣される予定の社員向けの語学研修
- ・ 地域の自然や文化などを紹介するコンテンツ（HP、パンフレット等）の中国語翻訳（簡体字）

利用可能な装置等

- ・ 特になし

所属学科：一般教育科（文系・社会） 職 名：講師
氏 名：熊 華磊 Karai, Yuu
T E L： F A X：
E-mail：k-yu@kagoshima-ct.ac.jp
所属学会：日本民俗学会、日本島嶼学会、鹿児島民具学会
研究分野（専門分野）：文化人類学、民俗学